



2021 ~ 2024 年度 中期経営計画

2021 年 3 月

株式会社大阪港トランスポートシステム



Osaka Port Transport System Co., Ltd.

はじめに

株式会社大阪港トランスポートシステム（以下「OTS」という。）は、国内雑貨輸送の近代化、都市内交通混雑の緩和、都市生活環境改善を図る目的で、大阪市が大阪南港に計画した複合ターミナルの事業主体として、1974年に設立された「株式会社大阪南港複合ターミナル」をその前身とする。

現在、大阪南港において公共性の高い一般トラックターミナルとして「大阪南港トラックターミナル」を建設・運営するとともに、一定区域への輸送を主目的とした「大阪区域トラックセンター」、国際海上コンテナの陸送に欠かせない海上コンテナシャーシプール等の運営及びこれらに関連する不動産賃貸事業を行うことで、大阪港における物流機能向上の一翼を担っている。

また、1988年から、大阪臨海部開発にとって不可欠となる、鉄道事業に取り組み、2005年から、大阪港からトレードセンター前間において、鉄道線路等を大阪市交通局（現大阪市高速電気軌道株式会社（以下「大阪メトロ」という。））に賃貸する第三種鉄道事業者に移行し、現在に至っている。

また、2000年にはコスモスクエアから夢洲を経由して新桜島を結ぶ北港テクノポート線ついて、第一種鉄道事業者として事業許可を得たが、その後の社会情勢の変化等により事業は延期となっていた。

このたび、大阪府市において夢洲を国際観光拠点として開発を進めることになり、2025年に開催される、日本国際博覧会（以下「万博」という。）への主要交通手段として、コスモスクエアから夢洲間の開業に向けた鉄道事業^(注)に取り組んでいる。

^(注) 本中期経営計画においては、当該区間の鉄道事業については、大阪市、大阪メトロ及びOTSとの役割分担により、OTSが鉄道施設のインフラ外部（軌道、信号通信、駅舎建築仕上げ等）を整備し、大阪メトロにこれらの施設を賃貸する事業スキームを前提とする。

経営理念

1. 「自律的かつ安定的な経営」を標榜し、社会的使命の達成に努め顧客並びに取引先との信頼関係を確立します。
2. 社会基盤として、人や物の流れを支える、質の高い施設やサービスを提供することにより、地域経済の発展と市民生活の向上に貢献します。
3. 一人ひとりの人格、個性、健康を尊重し、誇りと生きがいを持って働ける職場づくりを通じて事業を推進します。

経営方針

当社は、大阪港のポテンシャルを活かし、次の経営方針により大阪港の振興に寄与しながら企業発展を目指します。

1. 大阪市や大阪メトロと連携し、鉄道事業者としての使命感を持ち着実に鉄道事業を推進します。
2. 中長期的な視点を持ち、変化する社会・経済環境に柔軟に対応しながら、顧客のニーズを把握し、物流事業者の事業継続環境づくりに努めます。
3. 所有資産の魅力向上に努め、安定した事業継続と成長に必要な収益を確保するとともに、経営基盤及び財務体質の強化に努めます。
4. 事業を進めるにあたっては、コンプライアンスの徹底、リスクマネジメントの強化、SDGsを踏まえた環境・社会貢献活動を進めることにより、誠実に社会的責任を果たします。

具体的な取り組み

中期経営計画では、経営理念・経営方針に従い、次の取り組みを着実に実施します。

1. 大阪臨海部活性化に向けた施策を支える鉄道事業の推進
 - 大阪市及び大阪メトロと協力し、北港テクノポート線（コスモスクエアから夢洲間）の2024年度開業に向けた鉄道施設の整備
 - 鉄道整備に係る安定・確実な資金の調達、返済計画の策定
2. 利用者の目線に立ったトラックターミナル施設の新増築・改修など、ウィズコロナ・アフターコロナ時代の物流事業者の事業継続環境づくりのための施策
 - 顧客満足度の向上に向けたトラックターミナル施設等の新増築・改修
 - 老朽化した施設・設備の計画的な改修の推進、適切な維持管理
3. 収益性の確保と財務体質などの強化による安定した経営の実現
 - 顧客満足度の向上、所有施設の有効活用、施設稼働率の改善に向けた営業活動の推進
 - 売上高の維持・向上

数値目標

1. 大阪市及び大阪メトロと協力し、北港テクノポート線（コスモスクエアから夢洲間）の建設を確実に実施する。

【数値目標：2021～2024年度で230億円程度の設備投資】

安定した資金調達と償還スキームを確立し、2025年万博での主要アクセスとして、2024年度の開業を目指すため必要な手続き行い、インフラ外部の鉄道施設建設を行う。

2. 顧客満足度の向上に向けたトラックターミナル施設等の新築、改築の実施

【数値目標：2021年度～2024年度にかけて約24億円程度の設備投資】

老朽化したトラックターミナルのリニューアルを推進し、新棟建設、第8棟改修を実施する。また、その他の老朽化した施設・設備の計画的な改修の実施、適切な維持管理による機能の維持を図る。

3. 大阪南港トラックターミナル施設の改修計画策定及び再開発事業計画の検討

【数値目標：特になし】

今後、改修が進展することで、新たに生じる再開発用地についての、需要調査、事業スキーム等の検討を進める。

4. 顧客満足度を高めることによる、施設の稼働率の改善

【数値目標：2021～2024年度の平均稼働率95%以上を確保】

既存顧客の定着を図るため、施設に対するニーズや利用実態等を的確に把握し、施設需要に素早く対応することで、稼働率を維持するとともに、空き施設については計画的に誘致を図る。

5. 収益性の確保

【数値目標：前年度を上回る売上を確保する】

新規設備投資を行いつつ、収益の向上維持向上を図る。

前中期経営計画の進捗状況について（2021.2.1 現在）

前中期経営計画（2017～2019年度）の進捗状況は下表のとおりである。

〈達成状況表〉

項目	目標値 (2019年度)	達成見込み (2019年度末)	備考
株主への還元	優先株：30円/株 普通株：10円/株	○	
顧客定着率	90%	○	98.9%
事業用地の有効活用	売却 1画地 賃借地の自己所有化	○	
大規模改良、 新規設備投資	4億円	×	3.67億円実施、 未達額は翌年 度に実施予定